



食品物流の新たな価値をめざして

# 国内最大の食品物流ネットワークを活かし、日本の「食」を支え続ける。

全国107カ所の物流拠点と一日約4,000台の輸配送能力を活かす提案力で、サプライチェーン全体にわたる「食品物流の変革」に取り組んでまいります。

## お客様のニーズに学び、選ばれ続ける企業をめざして

国内最大の食品物流ネットワークを活かし、日本の「食」を支え続ける——私たちはこの信念のもと、お客様に、そして社会の期待に応えるべく、従業員一人ひとりがたゆまぬ努力を積み重ねてまいりました。

時代とともに変わる食生活を支え続けて六十余年、「物流」に対するお客様の多様なニーズに学び、そして育てられ、今のニチレイロジグループがあります。

国内シェアNo.1という優位性だけでなく、確かな物流専門知識と総合力、新しい発想やイノベーションで、お客様に「選ばれつづける企業」でありたいと考えています。

### ブランドスローガン

選ばれつづける仕事。

### ブランドステートメント

ニチレイロジグループは確かな専門知識と総合力に加え、社員一人ひとりの新しい発想と提案力をもってこれからの低温物流をリードし、日本の「食」を支え続けます。

## 低炭素化社会の実現に向けた物流共同化のさらなる推進

これまでニチレイロジグループは、冷凍食品・アイスクリームメーカーの共同配送事業や、量販店、外食・中食向け要冷品の物流センターの運営を通じ、さまざまな物流共同

化に取り組んできました。その一つひとつに「ニチレイロジグループならではの新しい発想」が組み込まれています。

環境負荷の軽減には物流で生じている無駄の排除が必須です。そのため、物流フローを見直し、「全体最適」の視点で新たなソリューションデザインを提案します。さらに、それを実行することによりコスト削減とCO<sub>2</sub>の排出量削減を同時に実現してまいります。

3PL事業を展開するロジスティクス・プランナーでは、北海道・中部・四国・九州地区における冷凍食品メーカーの共配や生菓子共配などに取り組んできました。トレーラーとフェリー便を活用したモーダルシフトのさらなる展開により、幹線輸送の効率化と環境負荷軽減に向けた取り組みを推進します。

### 環境対応型ロジスティクスを実現するフェリーのモーダルシフト

#### 過度なトラック輸送による課題

- 地球温暖化
- 大気汚染
- 交通渋滞・交通事故
- 運転手不足



#### フェリー便導入によるメリット

- CO<sub>2</sub>の排出量を削減
- 輸送コストを削減
- 商品破損が少ない
- 毎日の安全運行を実現
- 運転手の拘束時間短縮



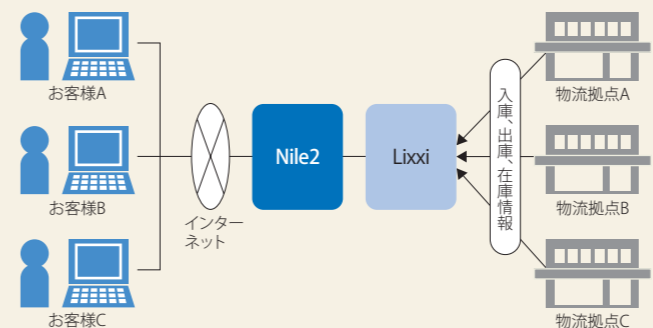
## IT技術に裏打ちされた高度な物流品質

食品に対する安全・安心のニーズが高まるなかで、私たちは物流品質においても「選ばれつづける企業」でありたいと考えています。

グループ基幹情報システム「Lixxi<sup>リクシー</sup>※1」によるきめ細かな物流情報管理により、賞味期限管理やトレーサビリティの確保に対応しています。また、「Nile2<sup>ナイル</sup>※2」によるインターネットを通じた在庫情報の提供など、お客様のニーズに応じた高品質なサービスを提供しています。

※1 Lixxi: logistics information-system 21  
 ※2 Nile2: Nichirei internet Logistics & e-commerce ver-2

### 荷主様向け情報提供サービス



全国の拠点における物流情報（入庫、出庫、在庫）をインターネットでリアルタイムに確認できる

## 発展を続けるニチレイロジグループの海外事業

ニチレイロジグループの海外事業は、1988年のオランダ進出から今年で20年という節目を迎えます。この間、欧州における冷蔵倉庫の設備能力は43万トンを超えるまでに成長しました。現在、ニチレイ・ホールディング・オランダB.V.の傘下に冷蔵倉庫事業4社9拠点、低温運送・通関事業



欧州の物流拠点

2社を有し、欧州の玄関港ロッテルダムを中心としてドイツ、ポーランドにも展開しています。

今後は、経済の急成長が続く東欧への事業拡大を図

るため、ポーランド南部に第二センターを建設、2009年秋の稼働をめざしています。

一方、2004年に上海鮮冷儲運有限公司を設立し、中国での事業基盤を確立しました。旺盛な需要に応えるべく新センターの設置を現在計画中です。

海外でも、お客様に選ばれ続ける高品質な物流サービスを武器としてグローバルな事業展開を推進していきます。



上海の物流拠点



上海の物流拠点の作業の様子

